

1. 会議の概要

- 名称:  
Workshop on Fibers and Optical Passive Components 2005
- 主催／共催機関:
  
- 開催場所:  
Palremo, Italy
- 日時:  
2005.06.22 - 06.24
- 発表件数:
  - Oral:53件(Invited14)
  - Poster:26件
- 歴史、スコープ:光ファイバ・光受動コンポーネントとその関連技術(光集積技術, パッケージング, 設計・開発, 測定, 標準化など)に関する最新に研究に携わる研究者・専門家などに国際的な議論の場を提供する。  
第1回開催 WFOPC '98 Pavia, Italy  
第2回開催 WFOPC 2000 Pavia, Italy  
第3回開催 WFOPC2002 Glasgow, UK

2. 発表内容

- 宮本大輔 (*Daisuke Miyamoto*)  
**Number:** III-2  
**Title:**Arbitrary Waveform Optical Pulse Generation Using an Optical Pulse Synthesizer  
**Abstract:** 光変調器およびAWGから成る光パルスシンセサイザを構成した。これを用いて、半値全幅5.1 psのガウシアンパルスおよびいくつかの任意波形パルスの生成を10 GHzの高繰返して実現した。  
  
**反響と感想:** 私にとって初の海外発表でした。プレゼンテーションは念入りに準備し繰返し練習を重ねていたこともあり、スムーズにこなすことができましたが、その後の質疑応答では言葉の端々しか聞き取ることができず、聞き取れなかった内容を自分で推測しながら答えを紡ぎ出すのにかなり苦労し、また座長の方に何度かフォローして頂くこともありましたが、何とか乗り切ることができました。質問の内容は、AWGモジュールとその制御電流源は具体的にどのような形状・サイズなのか、変調器アレイの電流制御ではどの程度の安定性なのか、トランスフォームリミットと実験結果とではどの程度の差があるのか、というものでした。このWorkshopへの参加で、英語能力の修練の必要性を痛感しましたが、一方で積極的に英語でコミュニケーションを取るのに必要な「度胸」を身につけることもできたので、この経験を次の機会に活かしたいと思います